

京都市学校歴史 博物館だより VOL.3



～京都が生んだ偉人たちの作品を一堂に展示～ 「学校のたからもの京都市立学校所蔵の名品展」を開催



山口華楊、梅原龍三郎、楠部弥弼、六代清水六兵衛など、日本の代表的な作家・陶芸家の作品。

「子どもを描いた作品」では、子どもの健やかな成長を願う情感豊かな心とむ作品を選んで出展いたしました。

期間中約11,500人を越える観覧者があり、子どもたちの「こころの教育」や

京都市学校歴史博物館および京都市立学校が所蔵する美術品の中から、京都が生んだ近代日本の文化をささえた偉人たちの作品を一堂に展示する「学校のたからもの—京都市立学校所蔵の名品展」を、京都新聞社等との共催で、京都市美術館別館の開館記念事業として、5月11日から6月4日まで開催いたしました。

その主旨は、全国でも例を見ない、京都市独特の著名な芸術家と学校・地域との深いつながりや、京都の学校が多くの芸術家を輩出した背景を広く紹介するとともに、貴重な財産を後世に伝えていこうとするものです。

今回の展覧会では、博物館および学校・園の所蔵品約1300点のなかから選りすぐり、次の二つのテーマに分け、あわせて90点を展示いたしました。

「著名な作家の作品」では、竹内栖鳳、上村松園、

「学校と地域との連携」が日本の教育の大きな課題として叫ばれている今日、この展覧会をご覧いただいた方には、「人の人たる道」「人づくり」に思いをかけた芸術家や地域の方々の情熱を感じ取っていただき、これからの教育のあり方をお考えいただけるひとつの機会となりました。



見る博物館から参加・体験の場へ

～学校歴史博物館は様々な事業を展開していきます。～

訪れた人が「物を見て、あるいは触れて、感じ、発見し、考える」。これが博物館のめざすところです。抽象的な知識ではなく、具体的な「物」を介して、自分のなかにある経験や知識を刺激し、新たな課題や、別の価値を見出す、そして自分の中で新たな思考を創造する、いわば教育の原点のひとつとも言えるのが博物館です。

学校歴史博物館では、教育にかかわる多くの歴史資料(古文書、教科書、教材・教具等)を展示していますが、古いものを見て、単に懐かしむだけでなく、明治初年の京都の教育が求めた「人の人たる道」を、今日の教育的課題と照らし合わせて、これからの教育の方向を考えていく場としていくこと、まさに「温故知新」をそのねらいとしています。

一方、学校歴史博物館の新たな特色として、展示物を見て懐かしむ、楽しむ、未来に思いをはせる場から一段前進し、生涯学習活動の体験の場として、開館1年次から多様な事業を展開してきました。



第1回 サマーイブニングコンサート



唱歌教室

特別展などの機会に開催する「シリーズ講座」はもとより、体験セミナーとして「昔の教科書を使った授業」や、展示品の明治のオルガンを修理して、それを使得の「サマーイブニング・コンサート」を開催しました。また先進的教育資料館の研究・調査に関わられた大学教授を招いて「21世紀の人づくりを考える～黎明期の学校教育から、現在・未来～」と題した教育シンポジウムの実施等、いずれも多くの参加者があり、大好評でした。

平成12年度においても、参加体験型の事業を一層拡大し、4～7月、毎第3土曜日に「懐かしの歌・唱歌教室。土曜です、皆で歌の輪広げよう」の事業を企画したところ、予想をはるかに超える申し込みがありました。

夏休み、秋にはそれぞれ新たな事業を展開する予定であり、見る博物館から市民に親しまれる参加・体験の場へ、学校歴史博物館は今後も多様な事業を展開してまいります。

事業のお知らせ

「祇園祭と明倫尋常小学校」

6月22日～8月30日

祇園祭をはじめとする京都の祭りは、町衆が支えてきた長い歴史があり、その町衆によって造られ、支えられてきた京都の小学校は、祭りに関する美術工芸品、歴史資料が多数保存されています。今回の企画展では、鉦町に位置する元明倫小学校や地元に関連する収蔵品を紹介します。

夏休み自由課題研究相談会

「自分たちの学校・地域を調べよう」

7月22、23日(進め方相談会)
8月12、27日(まとめ方相談会)

子どもたちの夏休みの自由課題研究を支援するとともに、自分たちの通っている学校、住んでいる地域の歴史を調べることを通じて、京都の歴史の奥深さを知り、地域を愛する心の醸成を図ります。

夏休み体験セミナー

「千字文に挑戦！」

7月29日(小学生対象)

7月31日(中学生対象)

古代中国で作られ、その後日本でも明治期まで、漢字教育・習字用教科書として使用された千字文を教材に体験セミナーを実施します。

夏休み体験セミナー(小学校高学年・中学生対象)

「日本画運筆に挑戦！」

8月22日

明治期まで京都の小学校では教えられていた日本画の運筆を体験するセミナーです。日頃の美術の授業では使わない画材を使った絵を描いてみましょう。

第2回サマーイブニングコンサート

8月25日 午後6時～

昨年に好評を博した夏の宵を飾るサマーイブニングコンサートの第2回を開催いたします。今年は成徳中学校の生徒たちのゆかた姿での参加、声楽家の独唱や、唱歌教室の参加者の歌声もまじえ、去年以上に楽しいものにしていきたいと思います。

お問い合わせは 京都市学校歴史博物館 (TEL.344-1305) まで

～日本で初めてこういう施設をつくられた京都の人々に敬意～



ハワイ大学の先生方を迎えて

仏教大学との交流で来日されたハワイ大学教育学部長のランディ・アレン・ヒッツ教授をはじめとする4人の先生方が、6月4日学校歴史博物館を訪問視察され、清水事務局長が歓迎の挨拶と、博物館の設置趣旨や経緯、機能、事業などについて説明を行いました。この中で、当博物館は「小さな博物館だが日本にとって大きな意義を持つ博物館」として、二つのポイント①京都では、日本において学校が制度化（学制発布）される3年前に、町衆を中心に地域の人々が力を合わせ64校の小学校が創られたこと、②またこうした学校が単に教育の場にとどまら

ハワイ大学教育学部の先生方をむかえて

ず、地域のコミュニティセンター的な役割を果たしていたことを示しました。日本では明治維新後、急速に近代国家として歩むことができた背景に、教育制度の近代化があげられるが、その魁となったのが京都の学校です。当館はまさにその歴史的意義を知っていただく施設であるとの解説に、先生方は大いに興味をもたれました。そしてさらに、人材育成＝教育の果たす役割を知る上で、発展途上にある、特にアジアの国々の方々に是非ともお越しいただきたい博物館であることも強調しました。

このあと一行は、大杉主任研究員の案内で館内をご覧になりましたが、各先生方から、「京都の人々の教育にかける情熱と日本で初めてこういう施設をつくられたことに心から敬意を表します。ハワイにもこういう博物館ができれば」との感想をいただきました。

～教育の歴史を伝える『現物』を間近に見られて感激～

留学生の皆さんもグループで来館

京都精華大学人文学部に在籍する中国・ベトナム・フィリピンからの留学生の皆さんが、5月8日グループで来館されました。

引率されていた同大学の呉宏明教授から「日本の教育のことを留学生にわかりやすく教えることは難しい。スタートとして、日本で最初の近代的小学校である京都の番組小学校から学ぶこととしました」との挨拶をいただきましたが、どの留学生の方も日本の教育制度や歴史に強い関心を持っておられる様子で、見学前のオリエンテーションでは熱心に耳を

かたむけ、展示室では歴史資料等を学芸員の説明に大きくうなずきながら興味深げにご覧になっていました。

このあと留学生の皆さんからは「日本の教育制度の創世期・皇国下・占領下・そして民主主義下の事情を伝える『現物』を間近に見られて感激した。」「学校づくりは町づくりの基本という人々の考え方をこの博物館を見学し納得した。」「古い教科書などを見て、知識を教える工夫に驚いた」などなど、しっかりとした日本語で書かれた感想文をいただいております。

お気付きですか？この記念碑

～こどもたちの未来、京都の未来を格調高く宣言～

「京都こども市会」記念碑

京都市学校歴史博物館の玄関である明治34年建造の門。この門を入るとすぐ左手に、「京都こども市会宣言」記念碑があります。

京都市自治100周年事業のひとつとして、平成10年7月15日から8月26日まで開催された「京都こども市会」。ここで発表された子どもたちの夢や希望、そしてその実現をめざし努力していくことを子どもたち自身が高らかに宣言したのが「京都こども市会宣言」です。



この宣言を形に残し後世に伝えたいとの樹本頼兼京都市市長の強い支援により、市長自らの揮毫を刻み設置されたこの記念碑は、京都の教育の情熱をふりかえり、子どもたちの人づくりと、明日の教育の方向に考えを

めぐらせる施設・京都市学校歴史博物館の象徴として、今日も凛としたたたずまいをみせています。

4月以降の主な事業の報告

特別展

「京都市に編入された郡部
葛野・愛宕・紀伊・宇治の学校名品」
2/17～4/4

明治5年の学制頒布以降に創立され、その後京都市に編入された学校の所蔵する美術品を展示し、番組小学校以外の各学校の伝統と地域の人々の学校への情熱を伝える。

企画展

「学校のたからもの 文化功労者たちの京焼を中心に」
4/6～6/20

京都の学校・幼稚園に数多く所蔵されている人間国宝、文化功労者などの受賞者である現代の名工たちの作品を中心に展示

名品展

京都市美術館別館開館記念
「学校のたからもの 京都市学校所蔵の名品展」
5/11～6/4 京都市美術館別館

京都市美術館別館の開館記念事業として京都新聞社等との共催

特別講演会

「番組小学校が生んだ巨匠たち」
5/14 午後2時～4時
京都会館会議場 参加約100名

講師 京都市立芸術大学名誉教授 榊原吉郎氏

唱歌教室

「土曜です 皆で歌の輪広げよう」

4/15, 5/20, 6/17, 7/15 参加者数各150名

昨年の11月に実施した唱歌の授業体験を引継ぎ、新しく始めた事業予想を上回る希望者があったため、会場を講義室から講堂に移し、開催

企画展

「祇園祭と明倫尋常小学校」
～8/30まで

祇園祭との関わりをしのばせる作品および、元明倫小学校収蔵品を紹介



ひと・まち・ロマン 元氣都市・京都

京都市学校歴史博物館だより VOL.3

■発行日/平成12年7月
■発行者/京都市学校歴史博物館
京都市下京区御幸町通仏光寺下儿橋町437 (元明倫小学校)
TEL(075)344-1305 FAX(075)344-1327 〒600-8044

■インターネット・ホームページ
<http://www.gakurehaku-unet.ocn.ne.jp>